

火災から命を守るために 住宅用火災警報器は点検・交換を

住宅用火災警報器は、全ての住宅に設置が義務付けられています。交換の目安は設置から10年。年数が経過したものは、交換を検討しましょう。

住宅用火災警報器と消火器を 区であっせんしています

区内在住の方は、住宅用火災警報器や家庭用消火器の購入・取り付けに区のおっせんを利用できます。

種類や価格について詳しくは、区 課 か、区民活動センター、消防署、区役所8階窓口で配布している案内をご覧ください。

☆区役所や消防署の職員が、訪問販売を行うことはありません。悪質な訪問販売にはご注意ください



◀警報器は、電池切れなどがないか定期的に点検を

地域防災係/8階
☎(3228)8930 FAX(3228)5647

あなたの力が必要です 消防団で活動しませんか

18歳以上の健康な方で消防団活動に関心のある方は下記へ問い合わせを。

中野消防団本部(中野消防署内)
☎(3366)0119

野方消防団本部(野方消防署内)
☎(3330)0119

特別区消防団入団サポートダイヤル
☎0120(119)588



▲消防団の活動の様子



「なかの元気アップ体操ひろば」 のご利用を

「なかの元気アップ体操」や筋力アップのための簡単な体操を行います。4月14日以降の毎週1回、各会場が指定する曜日(祝日・年末年始を除く)に実施。区内在住のおおむね65歳以上の方は、どなたでも参加できます。☆詳しくは、区 課 をご覧になるか、介護予防推進係へ問い合わせを

介護予防推進係/3階
☎(3228)8949
FAX(3228)5620

会場・定員(先着)	曜日
①小淀ホーム(中央1-18-3)・15人	月
②コーシャハイム中野弥生町コミュニティサロン(弥生町6-2)・20人 ☆室内履き持参	火
③コーシャハイム上鷲宮コミュニティサロン(上鷲宮3-9)・20人 ☆室内履き持参	水
④南台商店街会館(南台2-24-15)・10人	木
⑤中野友愛ホーム(江古田2-24-11)・15人 ☆室内履き持参	金
⑥東京都生協連会館(中央5-41-18)・25人	
⑦若宮3丁目家政会館(若宮3-17-3)・15人 ☆室内履き持参	

☆いずれも午前9時30分からと10時20分からの2回受け付け(⑥は10時20分からと11時10分から)。各回30分で同内容。当日直接会場へ

オンライン(ZOOM)でも利用できます

各日先着100人。事前登録が必要です。
日時 毎週火曜日午前10時30分から、毎週木曜日午後2時から ☆各回30分



▲詳しくは区 課

「なかの元気アップ体操」のDVDを配布中

中野区歌「未来カレンダーForeverNakano」に合わせてどなたでも取り組める体操です。

この体操は区公式YouTubeチャンネルでご覧になれる他、DVDの配布も行っています。希望の方は、介護予防推進係へ問い合わせを。



◀こちらからアクセス



DVDのジャケット▶

5月12日から受付開始

省エネ設備の設置費用を補助します



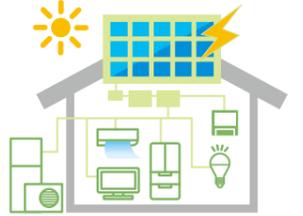
▲区 課

環境・緑化推進係/8階 ☎(3228)5516 FAX(3228)5673

区はCO₂(二酸化炭素)を削減し、地球温暖化を防ぐため、区内の住宅などに次の設備を設置する費用の一部を補助します。申請要件などについて詳しくは、区 課 をご覧ください。

対象設備

太陽光発電システム、蓄電システム(太陽光発電システムと連携するもの)、高断熱窓・ドア 家庭用燃料電池(エネファーム)、自然冷媒ヒートポンプ給湯機(エコキュート) ☆今年2月1日以降に設置したものが対象



繁殖期の

カラスからの被害を防ぐために

カラスは、3月~6月ごろに繁殖期を迎えます。卵やヒナを守ろうとして警戒心が強まるため、人を攻撃することがあります。カラスの習性を知り、寄せ付けない対策を取りましょう。

衛生環境係(中野区保健所)
☎(3382)6662
FAX(3382)6667

巣の近くを通らない

鳴きながら飛び回る、木の枝をつついて大きな音を出すなどの行動は、巣を守るための威嚇です。背後から飛んできて、人の後頭部を蹴るなどの攻撃をすることも。

そのようなカラスがいる場所には巣があります。なるべく通らないようにしましょう。

☆やむを得ない場合は、帽子や傘などで防御を



▲ハンガーなどで巧みに作られた巣

餌になるものを与えない

容器に付着したままのマヨネーズなど、油分の多いものはカラスの大好物。カラスは嗅覚が弱い半面、視力が非常に優れています。残飯は、目に付かないよう新聞紙などで包んでからごみ袋に入れ、容器類は、資源回収に出す前に必ず洗いましょう。また、ごみ集積所では、防鳥用ネットを確実にごみ袋に掛けてください。

☆防鳥用ネットの貸し出しについて詳しくは、清掃事務所 ☎(3387)5353・FAX(3387)5389へ問い合わせを



巣作りの材料を与えない

都会のカラスの巣は、主に針金ハンガーで作られます。ハンガーは物干しざおなどに固定し、洗濯物と一緒に取り込みましょう。また、葉や枝が多い樹木は定期的に枝切りをしましょう。

落ちたヒナには近付かない

5月・6月は、ヒナの巣立ちの時期です。翼の力が弱いと地面に落ちてしまうことも。人が近付くと、親ガラスが攻撃してきます。

ヒナが落ちていても近付かず、衛生環境係に連絡を。専門業者に捕獲を依頼するなど対応します。